

## 東邦大学医療センター佐倉病院臨床研修プログラム

### 佐倉・選択専攻科目

#### 耳鼻咽喉科（2～10ヶ月）

#### 1 目的と特徴G I O

耳鼻咽喉科・気管食道科・頭頸部外科としての基本的な知識・技能を取得することを目的とする。各分野の主要疾患に関する知識や診療技術について学習し理解を深めることにより、耳鼻咽喉科専門医、気管食道科専門医への道を開くとともに、他科においても役に立つような臨床を身につける。

#### 2 プログラム管理運営体制

各指導医と関連施設指導医と密接に連絡を取り、協議の上研修プログラムを作成・検討し、常に改善を図ってゆく。

#### 3 教育課程

##### 3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は2～10ヶ月である。

耳鼻咽喉科全般にわたる研修が理想であるが、研修実施期間によって研修の時間割を必須科目と希望選択科目によって決める。前期研修の後半は、地域医療研修を経験する。

佐倉病院耳鼻咽喉科研修コース

耳鼻咽喉科一般疾患の診断と治療

救急外来診療

めまい疾患（中枢性めまいを含む）

聴覚疾患（外・中・内耳疾患を含む）

鼻・副鼻腔疾患（アレルギー疾患を含む）

口腔・咽・喉頭疾患（唾液腺疾患を含む）

頭頸部腫瘍疾患（甲状腺腫瘍を含む）

その他希望項目

##### 3-2 到達目標

###### 3-2-1 行動目標SB0

研修内容は、研修したい内容を選択して出来るようにする。そのために、研修期間中に、選択した研修コースに沿った臨床を取得するようにするが、最低限、耳鼻咽喉科の救急について選択する。

### 3-2-2 経験目標SBO+LS

実践的な耳鼻咽喉科臨床を出来るだけ多く経験する。

#### 3-2-2-A 経験すべき診察手技

- 1) 患者への応対
- 2) コメディカルとの対話法
- 3) 問診の記載法
- 4) 診療器具の使い方
- 5) 耳鼻咽喉科専門検査の施行と判定法修得
- 6) 耳鼻咽喉科救急疾患への対応と処置
- 7) その他

#### 3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- 1) 急性中耳炎
- 2) 鼻出血
- 3) めまい
- 4) 頭頸部外傷

### 3-2-3 評価基準

耳鼻咽喉科疾患において、適切に対応できる診察能力（態度・技能・知識）が修得されたかを基準として評価する。耳鼻咽喉科評価表を使用し、その評価を行う。

### 3-3 勤務時間

研修期間中の勤務時間は、東邦大学医療センター佐倉病院の規定に従うが、耳鼻咽喉科に関する時間外勉強会・研修会、担当患者の状態によってはこの限りではない。耳鼻咽喉科救急については通常救急当直の時間帯とする。

### 3-4 教育行事

総回診：毎週水曜日午後2時より入院病棟にて行う  
症例検討会：毎週水曜日午後5時30分より会議室にて行う。  
勉強会：毎週金曜日午後6時より1時間の勉強会を行う

### 3-5 指導体制

耳鼻咽喉科研修プログラムの指導責任は、佐倉病院耳鼻咽喉科の指導責任者にある。研修は研修指導医の下に配属され、指導を受ける。研修協力病院においては各病院の定めに従う。

## 8 研修医の評価

研修医は研修開始時に配布した研修簿に研修内容を記載し、自己評価する。また、指導医から、研修中の評価を受ける。

